

動物調査と保全対策部会

はじめに

市内と周辺に生息する野生動物について、部会員と有志（学生、専門家、大学研究室、保全団体、市民調査員など）が協力して、対象種ごとの分布や生息状況、生息環境の特性を明らかにするための調査を行っています。また、採集、捕獲した生物の計測や標本化を実施して基礎的資料を収集、分析し、得られた結果を基に外来種の防除や在来種の保全を計画、実施します。その他、活動内容や調査の結果を市民に伝える啓発活動や環境学習にも協力しています。

平成27年度の活動

- ・ 罠類を使用したカメ類の生息分布調査
- ・ カメ類の産卵巣調査
- ・ アカミミガメの防除対策
- ・ センサーカメラによる哺乳類の生息分布調査
- ・ 音声を使ったコウモリ類の生息分布調査
- ・ アライグマの防除対策
- ・ 哺乳類標本の作製と分析

平成27年度の活動記録

● 浮島型罠によるアカミミガメの防除



図1. 浮島型罠の設置（山崎川）

（なごや生物多様性センター）野呂 達哉

- 内容** 浮島型罠によるアカミミガメの除去
- 場所** 山崎川（左右田橋上流、落合橋下流）
隼人池
- 日程** 山崎川（4月30日～5月29日）
隼人池（5月25日～2016年3月現在）
- 連携** 山崎川（山崎川グリーンマップ）
隼人池（隼人池公園特定愛護会）

● ニホンイシガメの産卵場所づくり

- 内容** ニホンイシガメの産卵場所となる環境を選定し、産卵場所として整備する
- 場所** 隼人池
- 日程** 7月10～28日
- 連携** 隼人池公園特定愛護会



図2. 整備したニホンイシガメの産卵場所（隼人池）

● カメ類の産卵巣および産卵場所調査

- 内容** カメ類の産卵場所の探索と産卵巣を見つけ、産卵した種や温度環境を調査する。
- 場所** 植田川、山崎川（豊岡コミュニティーセンター、名古屋市立大学薬学部薬用植物園）、堀川
- 日程** 植田川（4月15日）、豊岡コミュニティーセンター（5月25日、5月29日、9月29日）、名古屋市立大学薬用植物園（10月21日）、堀川（9月13日）
- 連携** 植田川（名城大学環境動物学研究室）、山崎川（山崎川グリーンマップ）、堀川（名古屋コミュニケーションアート専門学校）



図3. 産卵巣調査 (山崎川豊岡コミュニティーセンター)

● 植田川における
ニホンスッポンを中心としたカメ類の環境利用

内容 生息するカメ類の基礎調査を行い、選好する環境、食性などを明らかにした。

場所 植田川

日程 5月20日～10月28日に10回実施。

連携 名城大学環境動物学研究室



図4. 植田川のカメ調査

● ミシシippアカミミガメ生態系被害の
把握のための調査協力

内容 塚ノ杵池内にカメ密度を操作した実験区を設置し、実験区内部の水草の被食状況、生長の阻害等を評価することによって、ため池におけるアカミミガメの生態系影響を把握した。

場所 塚ノ杵池

日程 9月18日～24日

連携 (財)自然環境研究センター、なごや生物多様性センター、名東自然観察会、日本カメ自然誌研究会



図5. 実験区の作製

● アカミミガメ対策環境副大臣視察

内容 アカミミガメの特定外来生物指定に向けて、北村環境副大臣が名古屋市内のため池などを視察した。名古屋市内での視察は、部会が継続的にアカミミガメ対策を行っている隼人池とアカミミガメの繁殖により個体数が増加している塚ノ杵池において行われた。実際に部会員と市民調査員が、カゴ罟と浮島型罟によるアカミミガメの捕獲を行い、アカミミガメの現状や捕獲方法、その効果について環境副大臣に説明を行った。

場所 杵ヶ池、塚ノ杵池、隼人池

日程 7月21日 (塚ノ杵池に浮島型罟設置)、
28日 (塚ノ杵池にカゴ罟設置)、
29日 (杵ヶ池→塚ノ杵池→隼人池の順で視察)

連携 (財)自然環境研究センター、名東自然観察会、隼人池公園特定愛護会、日本カメ自然誌研究会、なごや生物多様性センター



図6. 北村環境副大臣視察 (塚ノ杵池)

動物調査と保全対策部会

● センサーカメラによる哺乳類生息分布調査

内容 各調査地域にセンサーカメラを設置し、哺乳類の分布状況を調査する。

場所 小幡緑地東園、大高緑地、猪高緑地、東山植物園、名古屋産業大学グラウンド周辺

日程 小幡緑地東園(10月5日～)、大高緑地(通年)、猪高緑地(通年)、東山植物園(3月9日～)、名古屋産業大学グラウンド周辺(3月2日～)

連携 金城学院大学小野研究室、名古屋大学エコトピア研究所林研究室、名東自然観察会、花水緑の会



図7. 自動撮影されたアライグマ(大高緑地)

● 音声を使ったコウモリ類生息分布調査



図8. コウモリの音声の自動録音(名古屋城)

内容 音声を録音、分析することでコウモリ類の生息分布調査を行った。名古屋城ではオヒキコウモリ音声の自動録音を試みた。

場所 小幡緑地、名古屋城、愛知県護国神社

日程 小幡緑地(9月3日)、名古屋城(6月16日、9月30日)、愛知県護国神社(5月26日)

連携 名古屋大学エコトピア研究所林研究室

● シベリアイタチの

年齢査定と性成熟および食性の特徴

内容 名古屋市で捕獲された個体の解剖を行い、年齢査定を実施、性成熟を推測した。さらに、胃内容物から食性を分析した。

場所 なごや生物多様性センター作業室

日程 通年

連携 名城大学環境動物学研究室

● アライグマ捕獲調査

内容 希少種および生態系保全のためのアライグマ捕獲を実施した。また、大高緑地では罠の見回りを保全団体が実施、事前に捕獲講習を行った。

場所 大高緑地、八竜湿地、二ツ池、雨池

日程 2月25日～(大高緑地)、3月1日～(八竜湿地、二ツ池、雨池)

連携 花水緑の会(大高緑地)



図9. アライグマ捕獲講習(大高緑地)

● アライグマとハクビシンの解剖実習

内容 防除捕獲された動物を材料として解剖実習を実施した。

場所 なごや生物多様性センター作業室

日程 4月8日、12日、17日

連携 名城大学環境動物学研究室、名城大学野生動物問題研究会



図 10. 解剖実習(なごや生物多様性センター作業室)

● 部会

日程 7月9日、12月22日

● 普及啓発活動

・テレビ取材

番組名 嵐にしやがれ

場 所 名古屋城外堀

日 程 9月12～15日

・池干し

場所 曾池、東ノ池

日程 曾池(9月29日)

東ノ池(10月21、25日、11月7日)

・環境学習

対象 八事小学校、南山大学付属小学校、
山崎川グリーンマップ

場所 隼人池、山崎川

日程 隼人池(6月22～23日、7月7日)

山崎川(7月24、25日)

・発表

内容 第17回日本カメ会議口頭発表「名古屋市内の野生下で見つかったハナガメとその交雑種について」

場所 静岡大学大学会館セミナー室

日程 2016年2月13日

・標本提供

内容 研究用として、いしかわ動物園にアカミミガメの生体を20個体程度提供した。

日程 8月13日

結果と今後について

今後、本年度の結果を踏まえた上で次年度以降の調査を進めるとともに、これらの結果をわかりやすく伝える「見える化」を実施したい。